

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2007-146187(P2007-146187A)

【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2007-63678(P2007-63678)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/85 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 63/85

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月29日(2008.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

テレフタル酸又はそのエステル形成性誘導体を主成分とするジカルボン酸成分と、エチレングリコールを主成分とするジオール成分とを、エステル化反応或いはエステル交換反応を経て重縮合させることにより製造されたポリエステル樹脂であって、テレフタル酸成分とエチレングリコール成分以外の共重合成分の含有量が全ジカルボン酸成分に対して 4 モル % 以下であると共に、280 で射出成形した厚さ 3.5 mm の成形体における、波長 395 nm の吸光度と波長 800 nm の吸光度との差が 0.08 以上、同じく波長 500 nm の吸光度と波長 800 nm の吸光度との差が 0.05 以下であり、ゲルマニウム化合物の含有量が、ポリエステル樹脂 1 トン当たり、ゲルマニウム原子 (Ge) として 0.4 モル以下であることを特徴とするポリエステル樹脂。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、テレフタル酸又はそのエステル形成性誘導体を主成分とするジカルボン酸成分と、エチレングリコールを主成分とするジオール成分とを、エステル化反応或いはエステル交換反応を経て重縮合させることにより製造されたポリエステル樹脂であって、テレフタル酸成分とエチレングリコール成分以外の共重合成分の含有量が全ジカルボン酸成分に対して 4 モル % 以下であると共に、280 で射出成形した厚さ 3.5 mm の成形体における、波長 395 nm の吸光度と波長 800 nm の吸光度との差が 0.08 以上、同じく波長 500 nm の吸光度と波長 800 nm の吸光度との差が 0.05 以下であり、ゲルマニウム化合物の含有量が、ポリエステル樹脂 1 トン当たり、ゲルマニウム原子 (Ge) として 0.4 モル以下であるポリエステル樹脂、を要旨とする。